

地域にはばたく市民パワー！



ところざわ倶楽部「広場」

所沢市民大学修了者の会 広報紙

2020年3月号（第136号）

発行責任者 佐藤 重松



会場 除菌風景

朗読劇 脚本・出演 中村 敦夫



2020.02.29 朗読劇「線量計が鳴る」 場所：中央公民館ホール 仲山 富夫氏/撮影

ところざわ倶楽部 主催

時局講演会(予告)

日時：2020年5月8日（金）13時30分～15時30分

（受付：13時00分～）

会場：新所沢公民館ホール

テーマ：「憲法について真剣に考える」（仮題）

講師：中島 徹氏（早稲田大学大学院法務研究科教授）



中島 徹氏

講師の基本理念：想像力がなければ思考は無意味になる！

お問合せ先：事業部 森野 04-2939-9756

松尾 080-1188-9411

柳瀬荘黄林閣の今昔と再生保全

柳瀬荘 黄林閣 管理人 針生 清美氏



『ところざわ倶楽部』の皆様、こんにちは。

私は、柳瀬荘(やなせそう)黄林閣(おうりんかく)の管理人をしておりまして針生(はりゅう)と申します。日頃、柳瀬荘の東山手入れボランティアに参加下さっている方々には、大変お世話になって

おりますが、ご存知ない方も多いためと申しますので、貴倶楽部との関係と柳瀬荘とゆかりの人物、松永安左エ門(耳庵)について説明したいと思います。



柳瀬荘 黄林閣

柳瀬荘は、昭和の時代に「電力の鬼」と言われた松永安左エ門(耳庵翁)の別荘だった所で、黄林閣は、荘内に1930年(昭和5年)から2年掛

かりで東久留米から移築され、1978年(昭和53年)国の重要文化財に指定された江戸後期の建物です。

私が管理人を引き受けて今年で6年目となりましたが、当初は、庭も荒れ果て草茫々、建物内も土埃でザラザラ、まして東の山は、本当に荒れた雑木林となっております。建物と庭先は、何とか1人で黙々と3年間掃除に明け暮れて、やっと少しは人に見て貰える位になったと思いつつも、その先が中々進まない状態で悶々としておりました。

丁度その頃、縁あって貴倶楽部の所沢の自然と農業サークルの方とお話する機会があり、お仲間提案をして下さり、メンバーの皆様にも初めてお会いしたのが、2018年夏の下見にいらして頂いた時になります。手伝って頂けるかは、その後の会議で決議して頂き、その年の秋から「柳瀬荘内東山に散策路を作ることを目的とした整備作業」が始まりました。

管理人を引き受けて4年目にやっと東山の整備が出来ると、本当に嬉しかった事を覚えております。当初ボランティア登録は、26名位だったと思いますが、現在はなんと37名と10名以上増え、大所帯のボランティアグループとなり、東山手入れ作業を手伝って頂いております。

初めの1年は、枯れ枝の片づけや竹の伐採に明け暮れ、なかなか散策路の整備に取り掛かる事が出来



竹垣作り

昭和4年から造営が始まり、黄林閣(おうりんかく)、長屋門(ながやもん)、耳庵(じあん)(茶室)、松風祠(しょうふうし)、東屋(あずまや)、閑室(かんしつ)、斜月亭(しゃげつてい)、久木庵(きゅうぼくあん)と次々に建てられ、世の中が戦争一色になった1941年(昭和16年)からは、ここで暮らし、1946年(昭和21年)小田原の老櫓荘に移るまでの16年間、耳庵翁の思いのままに作庭され、築かれた柳瀬山荘。



散策路の階段作り

現在ある柳瀬荘(当時 柳瀬山荘)は、1948年(昭和23年)に帝室博物館(現 東京国立博物館)に寄贈され、管理されて来ました。柳瀬荘を耳庵翁がいた時代に思いを馳せる事が出来る場、地域の皆様の生き甲斐や高い意識の活動の場、子供達が貴重な文化財を身近に感じる事が出来る場になればと考え、東京国立博物館に色々な提案をし、許可を得ながら管理しております。

その一つが『ところざわ倶楽部』所沢の自然と農業サークルの有志の皆様による東山手入れ作業です。耳庵翁も空の上から応援してくれている様に思う今日この頃、皆様には、本当に感謝申し上げますと共に今後ともご協力をよろしくお願い致します。

最後になりましたが『ところざわ倶楽部』の益々の発展と皆様のご健勝を心よりお祈りし、結びと致します。

新会員の声

多くの出会いを求めて

葵の会、アジア研究会、楽悠クラブ、脳活サークル、傍聴席 森井 茂吉



私は18才で新潟から東京に出て会社勤務。丁度高度経済成長のど真ん中で、深夜にも拘わらず多くの車が走っていることにびっくりしたものです。

私は67才で職を辞め現在69才です。所沢市民として28年。趣味は①旅行、ドライブ（ある程度の目標地点を設定し行動）②山登り（中程度）、スキー③読書（歴史物、小説）④映画鑑賞（ほぼ邦画）等、多方面で楽しんでいます。

この度、ところざわ倶楽部に入会いたしましたのは、多様な方々と話せる場が欲しかった事でし

た。多くのサークルに入会し、出席をしてみても皆さんの多趣味で豊富な知識に驚くと共に、これからのサークル活動の楽しみが増えました。

話が飛びますが、先年、皆様のお力添えの中で所沢市民大学26期を修了しました。2年次は地方自治に参加し、所沢市の現状を知りました。現在進行している事、先の計画予定等、34万人の人口をまとめることは大変です。一寸堅い事かな？自分が心配しなくてもよい事かも知れないが、今、日本が抱えている国債、農業、少子化、米軍基地、地位協定等、日本のいき方は難題が山積みです。皆様のご意見を聞かせてもらえれば幸いです。

緑と文化の街 所沢に魅せられて

傍聴席 村瀬 隆



長良川という大きな川が流れる山紫水明の岐阜市に生まれ育った小生には、この広い関東平野にきてやはり「緑」に憧れるところがあったのでしょうか、「緑と文化の街所沢」というキャッチフ

レーズに魅せられてこの地所沢市に住み着いて40数年になりました。その間、会社勤めとその後の10数年は関連の仕事が続け、数年前に完全リタイヤしました。一方、地域との接触は殆どなくて、所沢市民大学に接する機会もなく、趣味の詩吟のために近くの公民館のサークルへ時々出かける位でした。

完全リタイヤして時間に余裕ができた頃、所沢に住み着く動機となった「緑と文化の街 所沢」とは

何ぞや？「緑」は何となく判るものの「文化」とは？そんな疑問から始まって、これから住み続けるであろうこの街所沢の遠くない（自分が生きている間の）将来はどんな姿？そのために所沢市はどう動いている？あるいは所沢市はどうなって欲しい？等々に関心が湧いてきました。

そんな折、公民館で何気なく手にした冊子ところざわ倶楽部『広場』から、その傘下のサークル傍聴席を知りました。キャッチフレーズ、市政を見守る傍聴席に魅せられて（どうも、キャッチフレーズには弱いようです）、ここなら何か判るかもしれないと思い、傍聴席の傍聴人として出席させてもらいました。先輩諸氏に学びながら、この所沢の地に心地よく住み続けたいと願っております。

おすすめの1冊
第7回

読み手次第の一冊

21期 穴井 二三徳



おすすめの1冊といわれて、ハタと困った。若いころからジャンルを問わず本には目を通したほうだとは思いますが、本の選択にこれといったものがあるわけではなく、どちらかとい

えば出会った本のタイトルに惹かれ、そこから共感した書き手の諸作品に入っていくというのが率直なところである。そんなことで、塩野七生か梅原猛か、はたまた大岡昇平の作品かあれこれ考えているうちにふと浮かんだのが「ラ・ロシュフコー箴言集」（二宮フサ訳岩波文庫）。17世紀フランスの



ラ・ロシュフコー
箴言集

宮廷貴族ラ・ロシュフコーが今から360年ほど前に綴った箴言集である。彼はブルボン王朝興隆期にその筆頭貴族の長男として生まれ、生涯を、かのリシュリュー枢機卿をはじめとする政敵との抗争や、三十年戦争など諸外国との戦いの中で生き抜いてきた。この箴言集はそうした経験

を踏まえた警句と人間に対する多様な視点からの考察とで構成される。本来警句の類は好むところではないが教科書には出てこないフランス革命以前の諸相に興味を覚え手に取った次第である。めくってみると、随所に愛とか友情とか思いやりとかの美名のもとに潜む人間心理（真理？）への洞察があり、結構面白い。時代を超えて、今でもなるほどと頷くところがある。

論より証拠。いくつか取り上げてみよう。

（数字は通し番号、括弧内は私の読後の呟きないしはため息）

1. われわれの美德は、ほとんどの場合、偽装した悪徳にすぎない
（のっけからここまで言うか）
22. 哲学は過去の不幸と未来の不幸をたやす克服する。しかし現在の不幸は哲学を克服する
（そうだね。現実を前にしての理論の無力さ。永遠の課題かな）
39. 欲はあらゆる種類の言葉を話し、あらゆる種類の人物の役を演じ、無欲な人物まで演じて見せる
（いるいる、そんなのが。ゆめゆめ惑わされないように）
89. 誰も彼もが自分の記憶力を慨嘆し、誰一人として自分の判断力を慨嘆しない
（老いてきたことのしるし。こちらのほうが厄介だけどね）
291. 人の偉さにも果物と同じような匂がある
（過去にいつまでもしがみつくことの愚かさ。いまの自分の足元から明日をみよう）
347. 我々は、自分と同じ意見の人以外は、ほとんど誰のことも良識のある人とは思わない
（なんという独りよがり。それぞれ違うから面白い）
423. 老人たる術を心得ている人はめったにいない
（よくあるケース。そろそろ気をつけよう）

ざっとこんなもんです。時にはドッキリ、時には苦笑い。古今東西、人間のありようってそんなに変わりませんね。これを素直とみるか穿ちすぎとみるかは読み手次第。（退屈なときに我が身を省みつつ）、おすすめの1冊です。

**「戦争と平和！」
第 20 回****パラオと沖縄で**

松崎 晃

明治 44 年（1911 年）生まれの母は東京に嫁いでいた姉を頼り昭和 2 年上京し、看護学校を修了して港区の病院に勤めていた。昭和 10 年頃の秋に空巢に入られ、冬物をゴッゾリ持って行かれた。当時委任統治地であった南洋パラオの中心地ロコールの病院が看護婦を募集している事を知り、「一年中夏物ですごせる」と渡った。渡る前に助産婦の資格を得ていてパラオで数人を取り上げ、その内の一人は酋長の子供で、酋長の妻と子供と母の三人が写った写真があった。マンゴスチンは美味しかったが、パパイヤは好きではなかったなど時折当時の話を聞かせてくれた。南洋庁の職員であった父と結婚し、昭和 16 年 3 月姉が生まれたが健康状態が思わしくなく、南洋では十分な診察が受けられないと入ってきた連絡船に飛び乗った。昭和 16 年 12 月 8 日開戦の日、船はパラオから横浜に向けて小笠原沖を航行していて開戦の報を聞いたという。開戦直後で攻撃を受ける事も無く、無事横浜港に到着した。戦火が激しくなってきた父も一年後位に内地引き上げとなったが、途中船団が潜水艦の攻撃を受けて他の輸送船が沈没。護衛の駆逐艦が爆雷を投下したが反対に魚雷攻撃を受け、海面に向かって大砲を撃ちながら沈んでいったと話していた。帝国海軍の潜水艦探知能力は相当低かったようで、中学生の時読んだ駆逐艦「五月雨」の水兵の日記には、「艦長は潜水艦を恐れている」と書かれていた。聯合艦隊の根拠地だったサイパンとは違いパラオでの地上戦は無く、母が 80 歳を過ぎて観光で訪れた際、勤めていた病院が事務所として使われていたという。両親のいずれかが引き上げる途中で船と共に沈んでいたり、パラオに残っていた父が空襲で死んでいたりしたら、昭和 19 年生まれの子は存在していない。



平和祈念公園 平和の礎の中央通路

話はガラッと変わるが、2 月に初めて沖縄に行ってきた。最後の激戦地である摩文仁の丘の平和祈念公園と、ひめゆり

祈念資料館を訪ねた。

平和の礎ではブラッと同姓が並び、一家で何人も犠牲になったのかと胸が痛む。名前が判らず「〇〇の妻」との記述もあり、家族、親戚、近所の方など大勢が犠牲になり、名前を特定出来ない惨状を思わせる。平和祈念資料館には様々な展示があったが、本土決戦の準備時間稼ぎの長期戦の方針により、女性や子供まで根こそぎ動員し、食料の徴発による住民の飢餓が起きた事が記されている。追い詰められた軍は配備等を漏らさぬため集団自決を強いた事などの説明があり、国民を守るのが軍隊という定義では到底理解出来ない行動をとっている。



筆者平和祈念公園にて

平和祈念公園の後訪ねたひめゆり祈念資料館の前にはひめゆり学徒隊最期の鍾乳洞があり、覗くとほぼ垂直に数メートル下がっている。この様な場所で学徒隊

は突如軍から解散を通告され、弾が飛び交う地上に出る事もできず、どう行動したら良いのか迷っていたという。米軍から出てくるよう言われたが出られずにいると、毒ガス弾を投げ込まれ殆どが亡くなった。致死性の毒ガスの使用は戦時国際法違反ではないのか。この毒ガス使用や、焼夷弾により 10 万人が犠牲となった 3 月 10 日の大空襲、あるいは原爆の投下は「勝てば官軍」も構わないという戦争の醜い姿を示している。

沖縄戦では戦死した軍人の何倍もの民間人の犠牲者があり、中央通路の左側は民間人、右側は軍人になっている平和の礎を見れば実感できる。昭和 16 年から始まった戦争でも同じであった。正義のため、平和のため、国の利益を守るため、あるいは国際秩序を守るための戦争と理由を付けるが、在るのは破壊や殺し合いだけ。絶対戦争はしてはならないと沖縄で強く感じた。

サークル活動報告

古典芸能「歌舞伎」を知ろう！

葵の会 水上 俊彦



渡部 隆先生

「葵の会」は11年前の創部以来、今までに数多くの古典を学習して参りましたが、今回初めて「歌舞伎」講座を開設いたします。来る5月～7月の3ヶ月（各月1回毎第2木曜日）、中央公民館にて渡部 隆先生をお招きして「歌舞伎」の基礎を講義して頂きます。

「歌舞伎」は伝統的演技・演出様式によって上演されることで、2009年にユネスコ無形文化遺産に指定登録されました。400年の歴史を通して様式美を追求している伝統芸能でありながら、商業演芸という“世界的にも珍しい総合芸能にして、エンターテインメント”と言われています。

演目は次の3つに分かれます。

① 時代物（江戸時代以前の時代物語）

代表的な演目：「仮名手本忠臣蔵」
「義経千本桜」

② 所作事（歌舞伎踊）

代表的な演目：「京鹿子娘道成寺」
「積恋雪閑扉」

③ 世話物（江戸時代の現代劇）

代表的な演目：「髪結新三」「助六」

荒唐無稽・融通無碍な芸風から今までに多くの個性的な役者を生み、浮世絵にも描かれ今日の大衆的な人気につながっていて、5月には十三代目市川團十郎白猿の襲名披露公演が予定され、益々人気は盛り上がっています。「葵の会 会員以外の方も聴講可能(20名)ですので、ご希望の方はTel. 080-6855-5868(水上)に電話して下さい。参加費 1500円で先着優先です。

渡部 隆先生 プロフィール

東京都江戸川区生まれ。

18歳から歌舞伎を見物する。

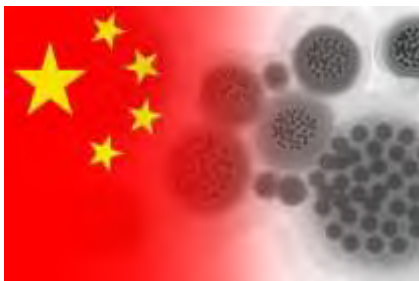
20年前から国立劇場歌舞伎会を毎年2回、先生の解説付で主催する。

新型肺炎の現実と今後は

アジア研究会 玉上 佳彦

アジア研究会では、中国・韓国・東南アジア諸国などの諸問題をテーマに、会員による報告会や問題提起による討論会などを行っています。

2月の定例会では、感染拡大が心配されているコロナウィルスによる新型肺炎（COVID-19）に関して、中国のマスコミからの情報や、私の中国の友人からの情報などをまとめて報告しました。



中国国旗とコロナウィルスの画像
出典：

media.rakuten-sec.net より

湖北省武漢から感染が拡大した新型肺炎は春節前から話題になりましたが、実際には昨年12月下旬から感染が発現していたようです。武漢市政府が公表を抑えていたという情報が流れ、これを指摘した医師が当局から摘発された後に死亡しました。さすがに

中国政府も、本件に関しては、報道規制がむずかしく、詳細を毎日TVやネットで公表しています。しかし、私の友人によると発表されている数字は信用できない、もっと多いのではないかと推測しています。中国では、日本のクルーズ船での感染状況を詳しく報道しているようで、逆に日本にいる私の体調を心配してくれていました。

彼ら（上海、天津在住）は意外と気楽に考えている節もあり、SARSの経験から6月頃には終息するだろうと楽観視している友人もいます。

しかしながら、目に見えない新型ウィルスであり、治療法が確立されていない状況なので、習近平国家主席は「感染拡大は国の危機」という異例の声明を出しています。

私達アジア研究会では、的確な情報の下で、日本経済への影響などを調査しつつ、今後の動向を注視していきたいと思っています。

サークル活動計画

興味のある活動に参加してみませんか？

1. 葵の会（水上 俊彦 080-6855-5868）

3月6日(金)13:30～15:30 中央公民館6号室
及川先生講義「古事記」、15:40～16:40 例会
3月26日(木) 文学散歩とお花見 中止
3月29日(日) 中止
4月10日(金)13:30～15:30 及川先生「古事記」(最終回)

2. アジア研究会（玉上 佳彦 090-2497-1076）

3月18日(水) 定例会中止
4月15日(水)13:30～ 中央公民館8,9号室 定例会 テーマ未定

3. 活いきシニア福祉の会（川上 紀春 090-5573-2548）

3月25日(水) 定例会中止
4月22日(水)13:00～15:00 生涯学習推進センター 定例会
5月27日(水)13:00～15:00 定例会予定

4. 楽悠クラブ（田村 健一郎 事前連絡は不要です）

3月10日(火) 定例会中止
4月14日(火) ワーグナー歌劇「ニュルンベルグのマイスター
ジンガー」11:00～16:50 (途中 昼食休憩)
いずれも 中央公民館3階8・9学習室
楽しい音楽をご一緒に!!!

5. 食を通して所沢を知る会（木下 みえこ 090-7272-6752）

3月17日 定例会中止
4月21日(火) 東京都薬用植物園(小平市)

6. 地球環境に学ぶ（中島 峯生 2928-1161）

3月17日(火) 定例会中止
3月31日(火) 第五福竜丸見学 延期
4月21日(火) 定例会 ①討論会グレタさんについて、他

7. 所沢シニア世代地域デビュー支援の会（田口 元也 090-9820-5668）

3月15日(日)12:00～14:00 中央公民館1階料理講習室
第7回「なんでも塾」「おしるこを食べる会」は、諸般の事情
により中止にしました。
3月7日、28日(土)13:00～17:00 中央公民館
チアダンス練習日 見学大歓迎

8. 所沢の自然と農業（稲村 洋二 2992-1751）

3月12日(木) 定例会中止
3月14日(土) 9:30～11:30 トトロ 21号地落ち葉掃き
3月17日(火) 柳瀬荘黄林閣散策路整備 中止
3月26日(木) 花見ハイキング(狭山湖畔)
3月27日(金) 柳瀬荘黄林閣散策路整備 保留

9. 野老澤の歴史をたのしむ会（大館 徹 2924-3010）

3月19日(木) 中止
4月2日(木) 旧鎌倉街道歩き(堀兼道ルート)
集合・新所沢駅9:00～堀兼神社～新狭山駅13:30 解散

10. ドラマティック・カンパニー（高橋 信行 090-9393-6238）

3月7日(土)10:00～12:00 定例会中止
3月21日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
いずれも「リチャード三世」朗読
4月4日(土)10:00～12:00 中央公民館学習室3号
朗読(テキスト未定)

11. 懐かしの映画・鑑賞会（二上 拓夫 080-1250-6151）

3月10日(火) 定例会中止
3月24日(火)10:00～14:30 西新井町会館 イベント有
邦画「ザ・マジックアワー」(08年) 妻夫木・佐藤
※ 季節の節句行事「桃の節句」(男の料理でおもてなし)

12. 脳活サークル（加曾利 厚雄 2939-2308）

3月23日(月)13:30～16:00
こどもと福祉の未来館 多目的室2号
―「埼玉ゆかりの三偉人」について― 会員の話

13. 傍聴席（石堂 智士 2947-0835）

3月16日(月) 中止
4月16日(月) 学習会「テーマ未定」

14. 民話の会（仲山 富夫 090-3902-0283）

4月17日(金)9:00～12:30 こどもと福祉の未来館 定例会
「まつい茶の花サロン」での民話の会の準備
『南永井のさつまいも』『弘法の三ツ井戸』『カヤ湯』の
読み合わせを行います。

理事会報告 第13期第3回理事会を2月10日(月)開催

- ・「ところざわ倶楽部歴代会長懇談会」を2/26開催。内容は3/9の理事会にて報告。
- ・「線量計が鳴る」朗読劇2/29(土)中央公民館開催。190名を超える入場者があった。
- ・時局講演会の講師 早稲田大学大学院法務研究科教授に決定。テーマ「憲法について真剣に考える」。5/8開催を決定。

- ・文芸講座講師 木左敬久 宮澤賢治研究者に決定。6～7月開催。
- ・ところざわ倶楽部まつりの今年度実施概略につき、各サークルでヒヤリングした内容を報告。今年度も昨年と同様9月、松井公民館、展示・舞台の形式で、より全員参加型を進化させる方向での開催が合意された。4月に実行委員会を立ち上げる。
- ・旧ホームページを3月末に閉鎖予定。

みんなの広場 第21回

野老澤の歴史をたのしむ会
佐野 弘太郎

所沢に博物館を

私は今、生涯学習推進センター三階で、市民学芸員の仲間と一緒にボランティアとして、俳優、左ト全の遺品の整理をしております。これは世田谷区在住のご親族から北野のご親戚をとおして彼の出生地である当市に寄贈されたものです。大部分が映画、テレビ、ラジオ関係の台本です。作業の手順は、二人一組で、写真撮影、封筒詰め、「資料調査及び補修記録カード」の作成などですが、今回の調査で最大の注目点は、「書き込み」です。何しろ、あの飄々とした独特の雰囲気、黒沢監督にも重用された個性豊かな俳優ですから、台本上の書き込みもまさに自由奔放、表紙、裏表紙などに、何月何日何時何分、誰からもらって、明日は何時にどこへとか、また、至る所に「世界人類が平和でありますように」などと、非常な達筆で書き込んであります。この書き込みは彼の人となり、思想背景理解の大切な手がかりなので、漏らすことなく記録しておかなければなりません。

作業メンバーは、市主催の「市民学芸員養成講座」の修了生で、生涯学習推進センター「ふるさと研究グループ」の職員さんの指導の下、月2回の午後2時間ほど行っています。ここには、今迄市内で発見され寄贈を受けた古文書や民具などの資料が保管され、市民の目に触れる日を待っています。しかし、元小学校の校舎ですから文化財保護に適した設備ではなく、博物館としての基本的機能を備えた設備を持つことが、郷土の貴重な文化財を、次世代につないでいくために必要と考えております。

むさし野俳句会(令和二年二月)作品抄



薄氷や水の奥へと鯉の影
目をもらひこけしは笑まふ山笑ふ
園長の鬼を追ひつめ追儼果つ
啓蟄や鋤の先には白い雲
引率の両手に泣く児芝萌ゆる
縁側に母の爪切る梅日和
冴返る星の息吹ける九十九里
国挙げて邪気を締め出す鬼やらひ

中村 直子
橋本 佑子
平栗 彰子
宮本 信生
荒幡千鶴子
井出 昇
海老澤愛之助
粕谷のぼる

石垣に競ひて伸びるはこべかな
春耕や備中鋤のやや重く
剪定の音の響きや嫁御来て
春田打棚田一枚目覚めさせ
何処見ても山坂ばかり里神楽
入間基地隊舎の庭に黄水仙
立春や他人事とせし吾がよはひ
桑の芽や家業勤しむ友も老い

小林 典子
佐藤 八郎
白神 恵子
高梨 千代
高橋三加子
利根川啓一
中嶋 弘子
鈴木 征子

《編集後記》

今月号の「広場」には初めて柳瀬荘黄林閣の管理人の針生さんの原稿が掲載されました。

針生さんとの出会いは2年前の初夏に柳瀬公民館主催の柳瀬歴史ウォークに参加しその最終訪問先が黄林閣でした。黄林閣は茶室のある西山は整備されていましたが東山が鬱蒼としていて立ち入り禁止となっていました。その時、我々のボランティア活動で整備ができないだろうかと思い針生さんに声をかけたのがきっかけです。

それから2年近く経ちますが竹林の伐採、常緑樹の伐採、散策路の整備と階段作り、竹柵の作成等の作業を行い以前とは見違えるほど整備されました。今年の9月の散策路整備完成を目指しています。また、先日東京国立博物館の環境部長や藤本所沢市長も来訪され喜んでおられたとのことでした。(稲村 記)

「広場」問合せ 玉上 佳彦 (090-2497-1076)

川柳〔五十二〕作品発表 選 中島峯生

課題「組む」

組立はパパの仕事と決めつける
腕を組む昔ドキドキ今は杖
足組んで座り上手なハイヒール
足組んで自慢の美脚人の邪魔
何時の間に妻先生に早変わり
まずビール次は焼酎これでよし

「自由題」

ばばドリル孫の受験に刺激され
桜咲く孫の声には甘いじじ
可愛さに思わず声を母笑顔
柔軟と言いつける人頑固者
マスクなし冷たい視線エレベーター
眼に見えぬウイルス襲う近未来

突拍子 りんご好き
ど う し
海さ とる
鼻 ・ 鬚
鼻 ・ 鬚
突拍子 人
縄文 子

次回(第52回) 課題「疲れる」そして「自由題」
締切り日: 3月20日、担当中島まで、どなたでも
宛先 mh-naka@jcom.home.ne.jp Fax04-2928-1161